家庭ノコトヲ忘レテハナリマセン。レツカリ考ヘテ早ク帰ツテ真面目ナ仕事ニツキ「馬鹿ガ見ルコトノナイ様ニシレバ」ヲ御忠告申シマス。

昭和十年三月六日

金町工場

殿

別記(二)

金町工場争議の其後の経過に就て

被害も漸く日毎に香めいて参りました。皆様には益々御清栄のことゝ慶賀の至りに存じます。偖て当工場の争議も最早一と月近くとなりまして皆様に対し何かと御心配を煩はし御迷惑を掛けて居りますことは誠に相済まない事と存じます。申迄もなく工場と致しましては元々事を平穏に納め度いと願つて居ましたので現在の如き状態の続きます事は何とも遺憾に堪へません。人命が如何せん今日の様子では遂ちに解決すゐとも思はれませぬので非常に憂慮して居る次第であります。

一、前回も申上げました通り争議の当初男工員九名を解雇しましたが其後当月十九日夜工場に出勤して居る従業員数名が外出しました処争議団員多数にて之を殴打し剰へ内一名を會館に担ぎ込み多数の面前にて乱打し合ひ殆んど全治二週間の重傷を負はしむるに至つた事件がありました。加之毎日毎夜出勤従業員や其の家族を或は路上に於て或は其家庭に於て脅迫し悪口する等団員は何等反省する処なき為め止むなく本月一日更に男工員十三名を解雇致しました。

一、越へて本月四日朝出勤中の従業員一名が工場へ来る見舞客数名と同道二三人の家庭を訪問の途中江戸川堤を通行中争議団員五六十名が襲撃し見舞客二名負傷し内一名は顔面頭部其他に全治三週間の重傷を負はせた様な事もありました。

一、如此何も罪なき出勤従業員に暴行し関係もなき家族の者や無関係の他人に迄暴行を加へるかゝるは口に大衆の利益を唱へる者として只々言語同断と言ふ外ないのであります。

一、現在も御承知の通り夜は男が覆面して出勤従業員や其家族を脅かし昼間は女工員を強制して棒を持たせ主番をさせて居る有様で将来ある二の丸氏の母として立たねばならぬ娘が慈愛や平和の婦徳を忘れて斯様な言行をせねばならぬ様に迄追ひ込んで争議団の一部野心家の犠牲となり行くことは誠に情なき次第と存じます。

一、一方工場は現在書間丈けの仕事を無事に終了して居りますが元々工場は争議などする積りも無く休業する考へも無く只争議団が勝手に自分の職場を捨てゝ置いて居るのですから工場には二週間以上無断で欠勤すると解雇さるる規則がありますので普通ならば最早や皆解雇さるゝ筈でありますが